

ふれあい

おまつ

158

URL <http://otsu.la.coocan.jp>
Eメール ohtsu-shakyo@jcom.home.ne.jp

大津地区社会福祉協議会
発行人 会長 嶋口 司
編集 広報部 会
横須賀市大津町3-20-16
Tel・Fax 046-834-2487
印刷 文明堂印刷株式会社



小泉議長

嶋口会長

5月21日
令和7年度総会開催

「近所同士が『お互い様の心』で
支え合いながら

皆様には、日頃より社会福祉へ
のご理解とご協力をいただき厚く
御礼申し上げます。

大津社協は、市社協の交付金と
正会員会費の他、特に財源ボラン
ティアとしての賛助会員の皆様の
賛助会費によって、充実した地域
福祉活動ができておりますことに、
深く感謝申し上げます。

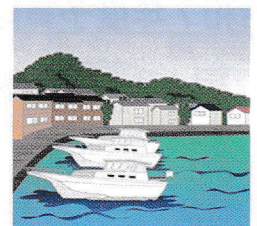
昨年は1月に施行された「認知
症基本法」に呼応し、福祉施設と
協力し認知症支援に取り組みなど、
各部会が新しい活動に挑戦した年
でした。本年も部会活動や登録ボ
ランティア活動を中心に、『ひとつ
ひとつ、一歩一歩、目の前の一人
を取り残さない』をモットーに、
社会福祉活動を展開していく所存
です。

ご近所同士が支え合う気持ちを
大切に、『お互い様の心』で小さく
ても出来ることをしていくことで、
安心して暮らせる明るく住みやす
い町づくりを目指していきたいと
思います。

大津地区社会福祉協議会
会長 嶋口 司

令和7年度総体事業計画

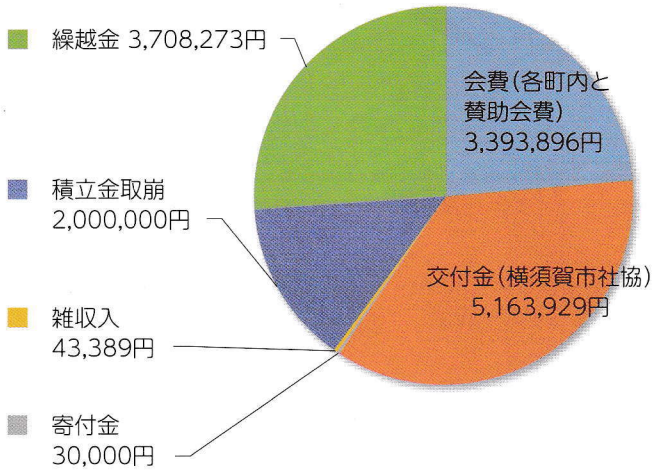
- 1 地域福祉活動の活性化を図るため、地域福祉連絡会を開催し、地域の実情を把握するとともに、町内会・自治会との連携を深め地域福祉の推進に努めます。
- 2 社会福祉推進委員を対象に研修会を開催します。
- 3 地域における「ふれあいきいきサロン」の実施を支援します。
- 4 町内会・自治会が実施する学童みまもりパトロールを支援します。
- 5 地域住民を対象とする福祉講演会を開催します。
- 6 「シャローム手づくりふれあいお弁当」事業に協力します。
- 7 シャロームが行う「認知症カフェ」事業に協力します。
- 8 ボランティアセンターの運営と活用を図ります。
 - (1) ボランティアの募集・育成と交流会を開催します。
 - (2) ボランティア情報の提供と需給調整を推進します。
 - (3) 福祉機器の貸し出し及び不用福祉用品有効利用の情報交換を行います。
- 9 民生委員・児童委員による「ふれあい相談」を実施します。
- 10 火災・水害・その他災害による被害者の援助を行います。
- 11 生活困窮者世帯に対し短期の「たすけあい資金」の貸付を行います。
- 12 地区社協の活動を財政的に支えるため、賛助会員の募集を行います。
- 13 賛助会員名簿を年1回発行します。
- 14 ホームページ等情報システムの充実を図ります。



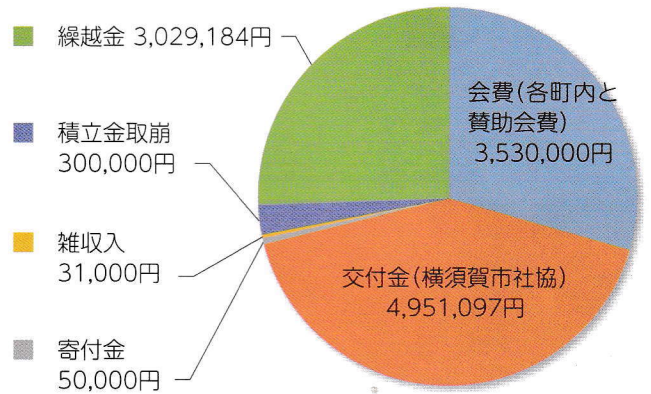
大津地区社協令和6年度決算と令和7年度予算

収入の部

令和6年度決算額 総額 14,339,487円

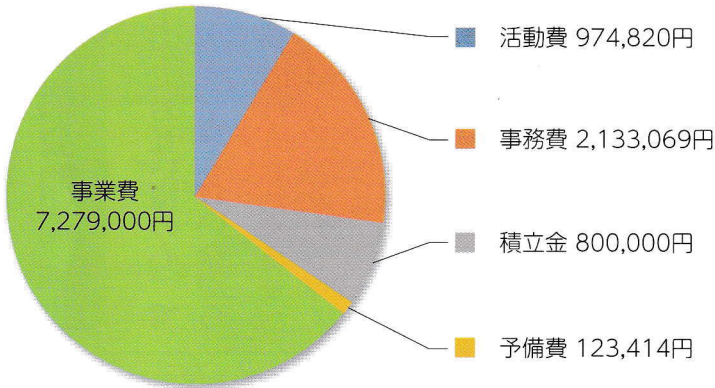


令和7年度予算額 総額 11,891,281円



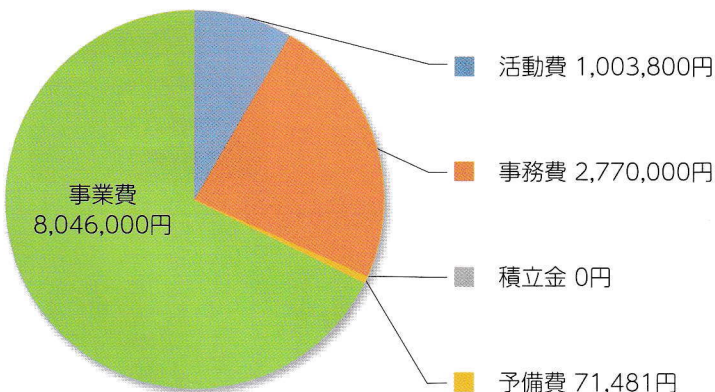
支出の部

令和6年度決算額 総額 11,310,303円



事業費内訳	(単位 円)
講演学習会費	179,674
いきいきサロン補助費	540,000
学童パトロール活動費	4,180
ボランティアセンター運営費	2,913,119
広報活動費	881,674
高齢者福祉活動費	556,407
障がい者福祉活動費	790,385
児童福祉活動費	538,862
推進委員連絡会活動費	36,919
共催行事分担金	50,000
子ども食堂活動協力費	37,780
ホームページ費用	30,000
地域福祉活動助成金	510,000
家賃保証料保険金	210,000

令和7年度予算額 総額 11,891,281円



事業費内訳	(単位 円)
講演学習会費	100,000
いきいきサロン補助費	520,000
学童パトロール活動費	30,000
ボランティアセンター運営費	3,210,000
広報活動費	976,000
高齢者福祉活動費	1,040,000
障がい者福祉活動費	800,000
児童福祉活動費	640,000
推進委員連絡会活動費	50,000
共催行事分担金	50,000
子ども食堂活動協力費	50,000
ホームページ費用	30,000
地域福祉活動助成金	550,000

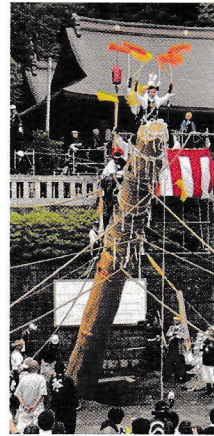
なかよしひろば



あそびにおいでよ!

今年度、第 1 回目の「大津なかよしひろば」が 5 月 16 日、大津コミセン体育室で行われました。子ども 22 名大人 22 名の 44 名の親子の参加がありました。今年度より、保育士の鈴木先生指導でパペット人形のおさるのもんちゃんと遊んだり、レジ袋のビニール風船にシールを貼って、その風船を持って、かけっこ遊びをしました。絵本の読み聞かせもあり、ママ同士の交流もたくさんあって、とても楽しいなかよしひろばでした。
(児童福祉部会)

御柱祭

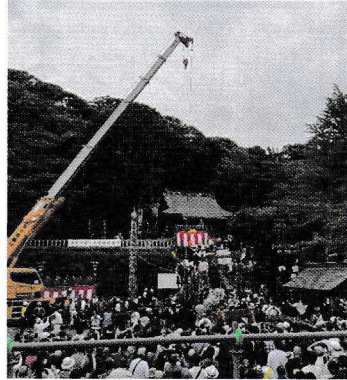


大津諏訪神社の御鎮座千二百年奉祝記念事業として「御柱祭」が行われました。

5 月 17 日の「里曳き」は激しい風雨の中、大津グラウンドから神社境内へ氏子町内の皆様に見学者も加わり、御柱が無事運ばれました。御柱には氏子町内の希望者がまたがったり、メデコに乗るなどして二度とできない体験に笑顔が溢れていました。

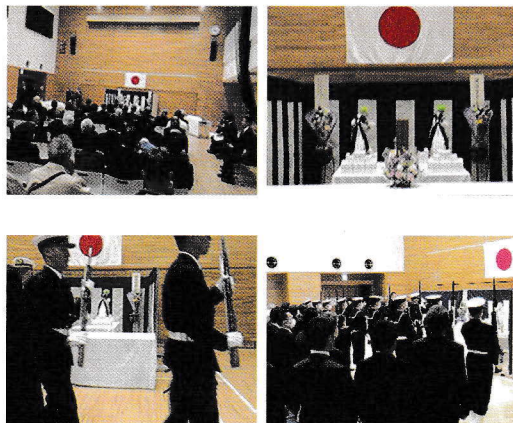
18 日には多くの見学者が境内を埋める中、「建御柱」が斎行されました。御柱が諏訪から来られた 230 名の皆さんでラッパ隊の音頭とともに引き上げられ、夫婦の御柱が寄り添うように建てられました。諏訪大社の村上宮司が「諏訪の神様は龍神をお祀りしているの

里曳き 建御柱



第70回 馬門山海軍墓地墓前祭

5 月 10 日(土) 今年の墓前祭は、あいにくの空模様となり、場所を大津コミセン 2 階体育室に移しての開催になりました。例年行われている儀仗隊による、弔銃発射は屋内のため行われませんでした。儀仗隊の拝礼のあと、参加者全員が御霊を慰め、恒久平和の願いを込め献花を行いました。
(広報部会 N)



ふれあい相談

8 月 6 日・20 日
9 月 3 日・17 日
10 月 1 日・15 日
いずれも水曜日
時間：10 時～13 時
場所：大津ボランティアセンター
Tel：046-834-2487
相談員
民生委員児童委員

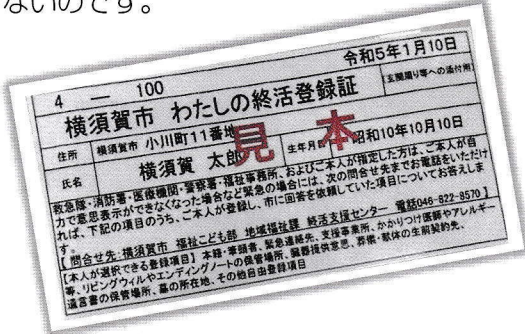


人生100年時代

— 2025年問題 — 第5回

終活登録は、電話1本で！

昭和から令和へ。固定電話からスマホへ。いつでもどこでも連絡ができる便利な時代になりました。でも…もしあなたが外出先で倒れたら…スマホにはロックが掛ってしまい、誰も連絡先を知ることができないのです。



そんな時の解決策として「終活登録」があります。登録後には、屋内用・携帯用カードが届きます。携帯カードは常に持っているとか何かあっても安心です。

わたしの終活登録

横須賀市役所の制度です

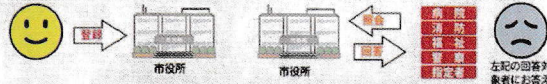
これからは、もう安心です！
電話1本でかんたん無料登録
いざという時とても役立ちます

いろいろな項目を自由に登録できます。横須賀市民の方は、ご年齢にかかわらず
どなたでも登録出来ます

- 本籍、筆頭者
- 緊急連絡先(友人も可)
- 支援事業所や、サークルなどの地域とのつながり
- かかりつけ医や血液型など
- 臓器提供の意思
- リビングウィルや、エンディングノート、保険場所・預け先
- 葬儀、遺品整理や身元保証の契約先
- 遺言書の保管場所・預け先、その場所を名乗る対象者
- お葬式場所
- 自由登録事項(遺影写真の場所など)

日本で最初の制度です

お元気な時、終活情報を登録 万一時、あなたに代わって市がお答え



登録・お問い合わせは **横須賀市民生局 福祉子ども部 地域福祉課**
横須賀市小川町11番地 消防局舎1階 ほっとかん **終活支援センター**
電話 **046-822-8570** (受付) 開庁日の午前8時30分～11時/午後1時～4時

お知らせ

▽高齢者福祉部会

【お楽しみ交流会】

とき 9月11日(木)

ところ 生命の星・地球博物館

対象 登録済のひとり暮らし高齢者

▽障がい者福祉部会

【日帰りバス旅行】

とき 9月26日(金)

ところ 東京昭和館、築地

対象 障がい者及びその介助者



ありがとうございます
社会福祉のために温かいご寄付を
いただきました。

コーポ湘南大津 匿名様

令和7年度 社会福祉功労者表彰

6月1日ヨコスカ・ベイサイド・ポケットで開催された「第72回横須賀市社会福祉大会」に於いて、市長・市社協会長表彰が行われました。

大津地区からは、7名が表彰されました。

- 10年以上永年勤続功労者として
 - ・社会福祉推進委員 1名
 - ・地域活動功労者 1名
- 20年以上勤続功労者として
 - ・主任児童委員 1名
 - ・社会福祉推進委員 4名

おおつボラセンだより

ボランティア募集



フラダンスや舞踊を披露される方を募集しております。興味のある方は下記にお問い合わせ下さい。

上記以外にボランティアに興味のある方も募集中です。

問い合わせ先：大津地区ボランティアセンター
Tel・Fax：046(834) 2487

編集後記

今年「昭和100年」団塊世代が後期高齢者になります。小学校は教室が足りず、午前と午後の二部制の学校があったり、中学からは一クラス50人以上、学年では5〜800人いました。ですから「君たちは墓場まで満員なのだ」と言われてきました。還暦を過ぎた頃からクラスで数人が欠けてきています。私が卒業した中学の同期は、年二回程各組の幹事が集い、皆の活躍や安否の情報交換をし、励まし合っています。専門主婦になつてからは、何かがおきたら隣近所が大事だと感じる事が多くなり、町内会行事にできるだけ参加するようにしました。数年前でしょうか、年を経て大事なことは「キョウウイクとキョウウヨウ」という言葉が目に入りました。「今日行く所がある。今日用事がある」私の予定をダイアリーに書き込み、なるべく空白の日が無いように心掛けています。先日、川柳の欄に素晴らしい句を見つけました。「卒寿すぎ脳活めざし猛勉強」この作者に比べたら団塊世代はまだ若い！私は料理やクイズ番組をよく見ます。「雑学ノート」を作り、為になると思ったことはすぐに書き込んでいます。大津地区社協の広報部会員にしていただき、たいした活動はできませんが、いろいろな事が勉強になり感謝です。元気で楽しい人生100年をめざしてまいります。(広報部 ゆきちちゃん)